

the 8 th

Regular

Concert

千葉工高吹奏楽部

第 8 回 定 期 演 奏 会

と き 昭和40年 1 月23日(土)p.m. 2.00

ところ 千葉市 教 育 会 館

主 催 千葉工高吹奏楽部

後 援 千葉工業高等学校PTA

千葉工業高等学校生徒会

ご あ い さ つ

関東吹奏楽連盟理事 水 島 数 雄
千葉県吹奏楽連盟常任理事

本日千葉工業高等学校の第八回定期演奏会を開く機会に恵まれ音楽愛好の皆様多数お出で頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

吹奏楽は明治二年我が国に初められ今日で九十五年有余を経ました。近年全国的にも著しく普及発展し、演奏技量も年々向上の域に達しつつありますことは誠に欣快に存じます。当校吹奏楽部員は常に視野を広く眺め乍ら音楽的にも時代の風潮に遅れぬ様、学業の傍ら練習に励んで居ります。そして吹奏楽の最も難点とするチューニングの確実性と正しいタンギングの奏法に主点をおき楽曲の演奏に当つては美しい音色、明確なリズム、心地よい和音の響き等によつて曲のイメージを十分に表現する様心掛け多くの人に喜ばれ愛されるバンドを目指して精進しています。

本日は日頃私達が練習した曲の中から皆様に親しまれそして意欲的なものを選びました。拙い演奏でお聞き苦しい点もありましょうが若人の熱意を込めた演奏をかつて頂き、幾分なりとも御満足頂ければこれに過ぐる喜びはありません。今後とも皆様方の御支援賜ります様お願い申し上げます。

弦楽器と管楽器の店

K. K. お茶の水

下 倉 楽 器

千代田区神田駿河台2-2 TEL 291 {4022
{4032

千葉工吹奏楽部メンバー

Conductor 水 島 数 雄 石 渡 祥 照 昼 間 艶 治 (3)

Flute & piccolo

春 日 信 行 (2)
藤 崎 富 雄 (2)
内 藤 守 (1)
林 覚 (1)

Bb-clarinet

松 崎 譲 二 (3)
村 中 孝 雄 (3)
伊 藤 秀 治 (2)
千 葉 弘 彦 (2)
岩 井 健 (1)
久 保 田 誠 (1)
谷 川 政 司 (1)
森 谷 照 夫 (1)
山 口 正 文 (1)

Alto-Saxophone

荒 井 武 (3)
魚 路 信 行 (1)

Tener-Saxophone

牟 田 治 男 (1)

Trumpet & Cornet

石 橋 三 郎 (3)
昼 間 艶 治 (3)
石 橋 秀 男 (2)
北 畠 幸 治 郎 (2)
佐 藤 信 男 (1)
高 橋 実 (1)
田 口 忠 誠 (1)

Horn

立 川 嘉 宜 (3)
塩 田 覚 (2)
土 井 正 吉 (2)
西 中 正 光 (2)
野 川 泰 (1)
渡 辺 進 (1)

Baritone & Euphonium

小 野 寺 隆 運 (3)
三 浦 勝 (2)
原 一 夫 (1)
守 春 夫 (1)

Trombone

柄 沢 正 夫 (2)
三 橋 正 夫 (2)
小 柴 昇 (1)

Eb-Bass

勝 博 治 (3)

Bb-Bass

山 崎 春 樹 (3)
市 原 憲 司 (1)
平 野 健 一 (1)

Drum & Tympany

鈴 木 康 之 (3)
加 藤 茂 (2)
守 良 平 (2)
中 川 自 通 (1)

レコードならヤマハ

。心の籠った贈物に最適のギフト

カード取扱中 御利用下さい

。各種豊富に取揃えてあります

日本楽器千葉店

千葉市新町331千葉ステーションビル2階

T E L ⑦ 1 7 0 5

当市唯一の万年筆専門店

パイロット・プラチナ・セラー

渡 邊 万 年 堂

千葉ショッピングセンター国電寄り

中華料理・定食

カレーライス専門の店

三 陽 食 堂

千工高前通り

TEL 0474 (7) 5245

— プ ロ グ ラ ム —

第 1 部

行進曲「オリンピック」

古 関 裕 而

行進曲「ジュビリー」

ゴ ー ル ド マ ン

ダンス・トツカータ

D ・ ア ゲ イ

大行進曲「タンホイザー」

ワ ー グ ナ ー

第 2 部

ベンハーより「戦車の入場」

ミ ク ロ ス ・ ロ ー ザ

スラブニツク・ラプソディ

フ リ ー ド マ ン

交響詩「祈願太鼓」

渡 辺 浦 人

交響詩「フィンランディア」

シ ベ リ ウ ス

第 3 部

O B 会 演 奏

第 4 部

ラツパ吹きの日

ア ン ダ ー ソ ン

行進曲「ラデツキー」

J ・ シ ュ ト ラ ウ ス

マ ラ ゲ ー ニ ヤ

レ コ ー ナ

イタリアン・フエステイバル

グ レ ン オ ツ サ ー

ウエストサイドストーリー

L ・ バ ー ン ス テ イ ン

曲 目 解 説

大行進曲「タンホイザー」

ワーグナー作曲

ワーグナーは1813年5月22日、ドイツのライプツヒで生れ、子供の頃から演劇に志し、16才頃から作曲を学び、自分で台本を書き音楽を作るといふ、音楽史上に画期的な歌劇の数々を生み出しています。

この「タンホイザー」は彼32才の時の作品で、タンホイザーという騎士が誘惑に負けて卑しい享楽に耽り、墮落の淵に沈んでいこうとするのを、その愛人エリザベートという清らかな乙女が、身を捨ててタンホイザーの罪をあがない、その魂を救うという、ドイツ中世紀の伝説による物語を歌劇に作つたものです。

この行進曲は歌劇の中の第二幕、ワルトブルグの城内、これから歴史的な歌のコンクールが開かれようとしている大広間に、多くの騎士たち淑女たちが盛装し、威儀を正して堂々として入つてまいります。その壮厳な行進をあらわす大行進曲です。

戦 車 の 入 場

ミクロス ローザ作曲

映画ベンハーのなかでも、最も高潮した戦車競技会の入場風景に使用されたもの。作曲者の個性の表われた華麗勇壮なマーチです。

狂詩曲「スラブニツクラブソディ」

フリードマン作曲

作曲家フリードマンは1882年ポーランドに生れた名ピアニストであり作曲家でもありました。この曲は元々ピアノ曲ですが、吹奏楽のために編曲されたもので、スラブ風の華麗な音詩である。

交響詩「祈願太鼓」

渡辺浦人作曲

渡辺浦人氏は、映画、テレビ等の音楽で已におなじみの作曲家ですが、その主な作品には、交響組曲「野人」「八重奏曲」「聖女」歌劇「大伴家持」などがありますが、此の曲も氏の代表作の一つで、雅楽的な和音の中に、祈禱の太鼓を大胆に用いた、氏独得の作品の一つです。

力強く打ち出されるお祈りの太鼓が、鬱蒼と繁つた深い神社の森の中にこだまして、神への祈りが荘重に、侵しがたい厳肅さの中に展開されていきます。お神楽も奏納されておりましたか、舞いの伴奏の笛や太鼓もきこえてきます。やがて又祈禱の太鼓が高々と森をふるわせ、響きわたつて曲は終わります。

交響詩「フィンランディア」

シベリウス作曲

湖の国、伝説の国、フィンランドを故郷に持つシベリウスの祖国愛の象徴とも言うべき交響詩である。フィンランドの風物を目の当りに見る様に、雄大、壮絶を極め数多いシベリウスの交響作品の中でも国際的に最も広く知られている彼の代表作の一つである。

民族の狂わしい叫び声にも似た調性不明の序奏、過去の苦難を訴える様な重苦しい主題、やがてけたたましい金管の合図に続く、進軍を思わせる雄大な行進曲、終りに近づいてやや哀調を帯びた民謡風の主題が、まず木管に表われ讃歌と化し、終結部では再び勇ましい行進曲主題が輝かしい金管の強奏と共に現れて息づまるクライマックスの内に壮重を極め、終止を告げる。

当クラブと名曲 『 四 季 』

ヴィバルディ作曲
解説・顧問
石 渡 祥 照

第一楽章

春

Fresh men が物珍らしそうな顔をして Club の扉を開く。
上級生による各 part への分配が始まる……一寸した奴隷市場を思わせる風景。
どうやら音らしきものが出せるようになった頃、子供会へ大人ぶつて出かけてみる。やがて梅雨……
……雨漏りとの協奏へと導かれていく。

第二楽章

夏

冒頭より昆虫との共演……トタン屋根に照りつける強烈な陽、汗くさい部室、CO₂ を臭ぎつけて
伴奏者の蚊が続々と寄ってくる。
だが……演奏を聞きにくる学友は一人もいない……愛の献血はこゝにも必要である。

第三楽章

秋

第一主題はconcours、concours、concoursの refrain で始まる……それも最もクライマックス
を示す筈の所の2小節前で急に消えてしまい静かになる。残念そうな村人達の顔々々。
それもやがて文化祭へと自然に導入されていく。

第四楽章

冬

トタン屋根のシンバルで荒々しく始まる。
この楽章は終始北風との協奏である。
穴だらけの部室から音がもれていく……お返しにと体の中を冷い風が吹き抜けていく。
氷の塊と錯覚する Bb Bass……一人楽器のみが暖い若人の息を吹込まれて楽しそうに甘えた声を出
す。せめてものなぐさめである。
つらい期間も終り華々しい Coda へと入ってきた。 Codaは……
Codaは今日の定期演奏会である。

流 言 10 句

荒 井 武

Alto-Saxophone

私がこの地球の中の日本の千葉県で有名な千葉工高の吹奏楽部に入つて今日で1019日になります。
私の住んでいる文化的な都市？市原市から毎日、汽車と電車の混む中を、ゆられゆられて60分、友と
通つた千葉工も、残り少ない日数となりました。今日は我々3年生の最後の演奏会です。どうぞ最後
の最後までお聞きのがしのないように、耳の穴を大きくして聞いて下さい。

石 橋 三 郎

Trumpet

今日、会場に來たあなたは何を感じたか……。いいんです。解つてます。ベルサイユ宮殿に劣る
とも勝らない汚さを痛切に感じたでしょう。そしてこの会場を我々の演奏でベルサイユ宮殿にする
のです。わずか数時間ですが、豪華なムードにひたつて下さい。

小野寺隆運

Baritone

宇宙の存在、人間の存在は不思議である。

神の存在には疑念があるが、理解を絶する時には必要となる。人間は造化の神の一大傑作品である。想像力と個々に独特な性格を、そして、愛情を与えた故に、人生は興味深い営みになったのである。……あれ、何言おうとしたんだつけ？……そう、神の心からの贈物である、音楽の事を言おうとしたのである。しかし字数制限である。最後に一言音楽程良く心情を表わし、聴いを与える物はない。

勝 博 治

Eb-Bass

37年当クラブ入部以来3年間 Bb, Eb Bass を受け持ちました。この間3年連続県コンクールにおいて優勝し関東大会出場。これは県下一の綺麗？な部室において暑さ寒さにまけず毎日練習に頑張ってきた成果だと思います。それだけに当部員は運動系クラブにも匹敵する位丈夫で長持ちします。どうぞこの丈夫で長持ちする当クラブを今後とも皆様方の御支援御指導をお願い致します。

鈴木 康 之

Side Drum

やあやあ遠からん者は音にも聞け、近くばよつて目にも見よ、我こそは関東久々田ヶ原に有名なる千葉工業機械科に在りて3年、本吹奏楽部に於ては小太鼓二刀流をもつて石渡祥照守に仕えしこと3年、今なお健在なりし鈴木康之なり。わが小太鼓二刀流連打の技、毎分744回はまさに近代式機関銃の如きなり。いざ見参……

立 川 嘉 宜

Horn

県立千葉工業高等学校工業化学科をこの三月に卒業見込みの私、ホルン（正確にはメロホン）を吹いています。入部後三年間続けているこのクラブのメンバーとしてこの間に吹奏楽コンクール県及関東大会3度、吹奏楽祭に数度出演し、このクラブ最大の行事この定期演奏会が3度目。しかしこの3度目の為の練習に出た日数が卒業予定者10名の中で1番少なかつた。2学期に入り他の仕事へ重点をおいていた為であつた。下級生に対してはあまりよくない3年生であつた。これを最後にこのクラブから追放されてしまう訳だ。

昼 間 艶 治

Trumpet

1個の物体がある。何も……そう全く夢も価値も無い物体。とかく天は2物を与えずと言う。蒼い窓がある、碧い空がある、そしてペットがある。遺産は大きい程よいと言う。音楽は巨大な歯車の潤滑油にすぎないかも知れない。その中でプラスバンドの果す役割と言つたら蚤みたいな物だ。しかしブラバンを愛する人達がこの会場にも……いや全国にも、いわゆる愛ブラ者が居る限り、私達は誇りを忘れない事にする。ではチャオ！

松 崎 讓 二

Bb-Clarinet

人呼んでクラリネットのジョー。昭和21年6月18日生れ、身長168cm、体重60kg、バスト91cm、ウエスト……、足の長さ120cm？、ハナの下6cm。特徴時々両眼が同時にイギリスとフランスの主都へ向くが好男子である。以上大部分ウソ。好きでもない機械科へ入つてからは、クラリネットをいじるのが学校で2番目に楽しい。1番目は何といつても午前の授業終了後の5分間というこんな幸せな野郎である。

村 中 孝 雄

Bb-Clarinet

クラスの連中はこと如く耳が大きいと言う、しかし本人はそうは思っていない。ただほんの少し大きいかなあと感ずる程度である。パートは長さ1米のクラリネット、心情は赤（情熱的）と黄（陽気）そんな感じの人間である。クラブの連中が皆こうである。

山 崎 春 樹

Bb-Bass

人生は長い、そして厳しい。40才を過ぎたらサモン……こんな事を云うのは製薬会社だけである。「人生は短かく、芸術は長し」。これこそ「芸術家」である私（自称）の云う所である。芸術は永遠の真理！……音楽に永遠の真理を求める事こそ私の使命だ。私は云う。「我ラッパ吹く、故に我あり」と……人生はこの一語につきる——気にしない。

青 写 真

陽画写真、トレース、設計製図、製図用紙

光 葉 社

千葉市長洲町1~115 市役所前十字路
TEL ② 2 5 9 7 本千葉駅2分

進学就職のお写真は

高 山 写 真 館

夜間撮影・出張撮影も致します

国電津田沼駅前
TEL (0474) (7) 3200

千工高教科書受持書店
教科書
参考書 各種学習参考書

いのはな 多 田 屋

千葉市亥鼻町(大学病院坂下)
TEL ② 2 5 6 0

明るく楽しいデパート

 扇 屋

千葉中央銀座
TEL (2) 2 1 2 1

白井建設株式会社

千葉県習志野市津田沼1~1930
TEL (0474) (7) 2 1 0 1 (代)

書籍・雑誌・専門書

し な の 書 房

TEL (7) 2 4 0 7

皆様の御来店をお待ち致しております

石 井 文 具 店 校 内 売 店

千葉工高正門前 TEL (7) 3 5 7 4